

# 第13期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



株式会社 ソディック プラステック

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成17年3月31日をもって第13期営業年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業報告書をお届けし、営業の概況及び決算の状況につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、期の後半で一時的な調整局面を迎えたものの、企業収益の改善に支えられ設備投資が増加し、また、個人消費も底堅く推移する等、全体として、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

当業界におきましては、価格競争の激化や、一部原材料の高騰等懸念材料は抱えつつも、総じて高水準の受注環境で推移しました。

このような状況の中で当社は、加賀本社工場の増築を機にプライベートショー「Sodick Plustech Fair 2004」を開催、射出成形機の新機種（EH2シリーズ7機種と縦型VREシリーズ1機種）及び周辺機器の新製品クリアメルトシステム（可塑化補助装置）、横走行小型取出しロボットを発表し、それぞれ販売を開始したほか、業界展示会への積極的な出展等により、当社製品群の拡販に努めてまいりました。また、CS21（Customer Satisfaction 21—顧客に満足していただける製品、サービスの提供を行うために常に顧客を意識し、また顧客の視点でものを考えて日々の仕事を行うこと。）をスローガンに、全社あげての徹底した品質管理、原価低減活動や業務の効率化等に積極的に取り組み、企業体質の一層の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当期の売上高は122億26百万円（前期比32.6%増）と過去最高となりました。

これを部門別にみますと、

- ・射出成形機部門では、自動車、IT、デジタル家電の関連業界等からの活発な需要が続きました結果、売上高は88億63百万円（前期比15.5%増）となりました。
- ・特機部門では、液晶設備の大型化需要を背景に、精密XYステージの販売が好調に推移しました結果、売上高は33億62百万円（前期比117.3%増）となりました。

一方、利益面では、経常利益が7億17百万円（前期比

46.5%増)と過去最高を更新しましたが、前期に税務上の繰越欠損金が解消され、当期より法人税、住民税及び事業税が増加したため、当期純利益は4億44百万円(前期比10.7%減)となりました。

なお、利益配当金につきましては、1株につき2,500円(中間配当金と合わせて年間配当金は1株につき5,000円)とさせていただきます。

つぎに今後の見通しを申し上げますと、景気は緩やかな回復基調にあります。内外の諸情勢から先行き不透明感も強く、また、当業界におきましても、販売価格の低下傾向や一部原材料の高騰等、当面は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

こうした状況を踏まえ、当社は前期に行った工場の増築と機械の増設により、外注部品の内製化による原価率の低減を図り、生産増加や人員増加等による経費の増加を吸収すべくコスト削減を行うとともに、製品の機能、性能上の競争優位性を確保するため、一層の品質向上と技術革新に注力してまいります。また、海外におきましては、グローバルマーケットに対応した最小限の拠点作りが完了したことにより、次のステップである各拠点のさらなる充実・強化に努め、一層の収益力の向上を図るべく、力を注いでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

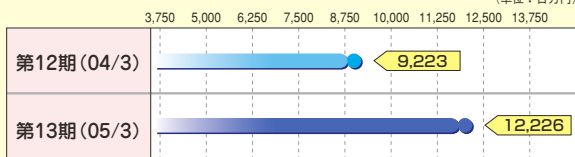


代表取締役社長 代表取締役会長  
藤川 操 関 陽一

# 財務ハイライト

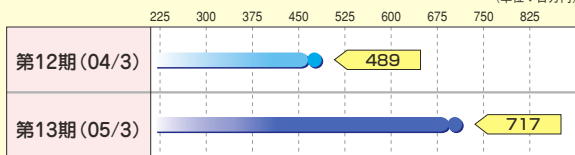
## ■ 売上高

(単位：百万円)



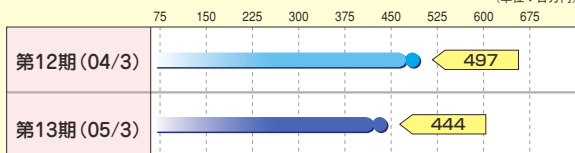
## ■ 経常利益

(単位：百万円)



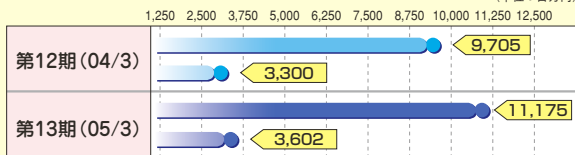
## ■ 当期純利益

(単位：百万円)



## ■ 総資産 及び 純資産

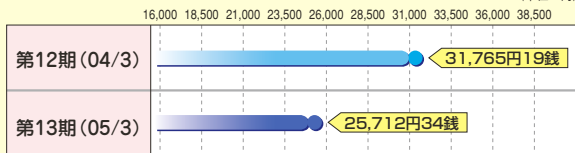
(単位：百万円)



(上段：総資産、下段：純資産)

## ■ 1株当たり当期純利益

(単位：円)



(期中平均株式数 第12期 (04/3) 14,718株  
第13期 (05/3) 16,300株)

## 事業部門別売上構成比



射出成形機部門  
88億63百万円(前期比15.5%増)

**72.5%**



特機部門  
33億62百万円(前期比117.3%増)

**27.5%**



## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第13期	第12期
	(平成17年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	11,175	9,705
<b>流動資産</b>	7,808	6,696
現金及び預金	1,365	1,878
受取手形	1,278	696
売掛金	2,963	2,300
製品	414	463
原材料	909	632
仕掛品	546	416
前払費用	17	19
繰延税金資産	107	82
関係会社短期貸付金	26	36
未収入金	95	112
未収還付消費税	23	44
その他	59	14
貸倒引当金	△0	△0
<b>固定資産</b>	3,367	3,008
<b>有形固定資産</b>	3,117	2,777
建物	1,015	1,041
構築物	21	26
機械装置	505	527
車両運搬具	3	2
工具器具備品	46	35
建設仮勘定	402	21
土地	1,123	1,123
<b>無形固定資産</b>	2	3
ソフトウェア	1	3
その他	0	0
<b>投資その他の資産</b>	246	226
投資有価証券	5	2
関係会社株式	40	33
関係会社出資金	68	104
従業員長期貸付金	0	0
破産債権等	22	23
長期前払費用	5	2
繰延税金資産	84	53
その他	42	28
貸倒引当金	△22	△23
<b>資産合計</b>	11,175	9,705

(単位：百万円)

科目	第13期 (平成17年3月31日現在)	第12期 (平成16年3月31日現在)
<b>負債の部</b>	7,572	6,404
<b>流動負債</b>	6,127	4,856
支払手形	3,295	2,601
買掛金	1,133	954
短期借入金	400	177
一年以内返済予定の長期借入金	421	453
未払金	265	432
未払費用	133	114
未払法人税等	273	106
前受金	196	1
預り金	6	6
前受収益	1	6
その他	0	0
<b>固定負債</b>	1,445	1,548
社債	220	220
長期借入金	856	867
長期未払金	236	355
退職給付引当金	71	47
役員退職慰労引当金	60	47
長期前受収益	1	10
<b>資本の部</b>	3,602	3,300
<b>資本金</b>	2,171	2,166
<b>資本剰余金</b>	596	591
資本準備金	596	591
<b>利益剰余金</b>	834	542
利益準備金	6	6
当期末処分利益	828	536
<b>株式等評価差額金</b>	1	△0
<b>その他有価証券評価差額金</b>	1	△0
<b>合計</b>	11,175	9,705

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	第13期	第12期
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	12,226	9,223
売上原価	9,892	7,196
販売費及び一般管理費	1,640	1,494
営業利益	692	532
営業外収益	101	66
受取利息及び配当金	2	1
受取手数料	30	10
賃貸料収入	21	32
保険金収入	1	11
補助金収入	23	—
雑収入	23	10
営業外費用	77	108
支払利息	39	52
社債利息	1	2
新株発行費	0	12
社債発行費	—	4
賃貸用固定資産諸費用	24	19
有価証券売却損	—	0
為替差損	7	10
雑損失	2	5
経常利益	717	489
特別利益	32	21
貸倒引当金戻入	0	20
固定資産税還付	—	1
投資有価証券売却益	15	—
前期損益修正益	17	—
特別損失	43	43
退職給付会計移行時差異償却費	3	3
関係会社出資金評価損	36	—
関係会社株式評価損	3	6
関係会社整理損	—	22
投資有価証券評価損	—	9
税引前当期純利益	706	468
法人税、住民税及び事業税	319	106
法人税等調整額	△57	△135
当期純利益	444	497
前期繰越利益	425	39
中間配当額	40	—
当期末処分利益	828	536

## 利益処分

(単位：円)

科目	金額
当期末処分利益	828,498,511
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき2,500円)	40,760,000
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	25,000,000 (1,200,000)
次期繰越利益	762,738,511

(注) 平成16年12月13日に40,760,000円(1株につき2,500円)の中間配当を実施いたしました。

## キャッシュ・フロー計算書

(平成16年4月1日から  
平成17年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額	△512
現金及び現金同等物の期首残高	1,878
現金及び現金同等物の期末残高	1,365

## 株式の状況

(平成17年3月31日現在)

- |                |         |
|----------------|---------|
| ① 会社が発行する株式の総数 | 55,088株 |
| ② 発行済株式総数      | 16,304株 |
| ③ 株主総数         | 2,256名  |
| ④ 大株主の状況       |         |

株主名	持株数	出資比率
株式会社ソディック	6,475 株	39.7 %
ソディックリース株式会社	2,719	16.7
日本証券金融株式会社	232	1.4
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	204	1.3
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	104	0.6
ソディックプラステック 栄光持株会	100	0.6
第一生命保険相互会社	100	0.6
東京海上日動火災保険 株式会社	100	0.6

## トピックス



プライベートショー開催  
Sodick Plustech Fair 2004

平成16年5月13・14日  
(加賀本社工場にて)



## 会社の概要

(平成17年3月31日現在)

商号	株式会社ソディックプラスチック
設立	平成4年7月29日
資本金	21億71,045千円
主な事業内容	射出成形機及びその他周辺機器の開発・製造・販売並びに精密ステージの販売
従業員数	164名（子会社への出向者を含みます）
横浜本社	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-7-20 NKY新横浜ビル6階
加賀本社	〒922-0595 石川県加賀市宮町カ1-1
営業所	仙台、大宮、横浜、松本、名古屋、大阪、北陸
海外拠点	台湾、韓国、中国、香港、タイ、シンガポール、米国



## 取締役及び監査役

(平成17年6月29日現在)

代表取締役会長	関 陽 一
代表取締役社長	藤 川 操
取締役副社長	小 川 恒 一
専務取締役	藤 倉 進 司
常務取締役	伊 藤 義 則
常務取締役	井 上 幸 彦
取締役	渡 邊 雅 春
取締役	谷 口 一 芳
取締役	和 泉 忠 之
常勤監査役	宮 地 嘉 寿 夫
監査役	廣 崎 厚 生
監査役	山 本 孝 志
監査役	森 道 嗣

(注) 監査役宮地嘉寿夫、山本孝志及び森道嗣は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 株主メモ

決算期日 毎年3月31日  
基準日 毎年3月31日  
その他必要ある場合は、予め公告する一定の日

定時株主総会 毎年6月  
公告掲載新聞 日本経済新聞

〔当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ〈<http://www.plustech.co.jp/kessan/index.html>〉に掲載致しております。〕

名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求)

☎0120-175-417

(その他のご照会)

☎0120-176-417

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国本支店



## 株式会社 ソディック プラステック

横浜市港北区新横浜二丁目7番地20

郵便番号 222-0033

☎(045)478-1880 (代表)

<http://www.plustech.co.jp>